



会報

WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファーE. ジョーンズ
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/木戸 辰浩

副会長/福田 和彦

幹事/及川 悟

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3043回 例会報告
2022.8.5●例会日/金曜日〈12:30~13:30〉
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■点 鐘

木戸 辰浩 会長

■国歌斉唱

■ロータリーソング (四つのテスト)

■ゲスト紹介

米山記念奨学生 ムカングワ・メモリー 様 (欠席)

帯広大谷高等学校 教諭 金沢 潤吉 様

帯広大谷高等学校 ボランティア部の皆様

■ビジター紹介

司法修習生 三関 陸志 様

■8月誕生祝

佐藤 三幹 会員 S30.8.22 一宮 綾子 会員 S50.8.17

鈴木 正孝 会員 S30.8.24 松岡 真勝 会員 S50.8.31

深井 弘美 会員 S32.8.26 夷石 行夫 会員 (栄 子様) 8.1

松野 和広 会員 S33.8.16 稗貫 秀次 会員 (アツ子様) 8.5

川端 正幸 会員 S39.8.8 火ノ川好信 会員 (圭 子様) 8.29

石岡 幸雄 会員 S39.8.13

■バースデーソング

■乾 杯

■会長挨拶

木戸 辰浩 会長



皆様こんにちは。先々週ガバナー公式訪問無事終了することが出来ました。久木ガバナーより評価の高いお礼の言葉もいただいています。皆様本当にお疲れ様でした。

またガバナー補佐公式訪問も一回目が終了したと聞いておりますが、コロナが急増していることから足寄ロータリークラブだけは延期になったと伺っております。

先月の末から大谷高校インターアクトクラブの活動で金沢先生とメンバーの皆さんが湘南に行かれておりました。その中で青少年委員長の中村さん、前委員長の曾我さん、インターアクトクラブ立ち上げからお手伝いしている中島さんが、当クラブから同行しております。前年度から中島さんが今回の交流の段取りをしてくれていましたが、大変暑い中で同行してもらい有り難うございます。詳しい話は今日のプログラムでお話をすると思いますので宜しくお願い致します。

さて今月は会員増強月間でございます。他の2500地区のクラブもご苦労されておりますが、クラブとしても課題の一環になっている中で是非見直しをする月間だと思っております。私のテーマにもありましたが何とか現状を保って、会員全員が身の回りを把握して、友情を作り、会員基盤の強化に繋げていただきたい。その中で新会員を温かく迎え入れる体制を作っていきたいと考えております。会員増強委員長、副委員長を始め皆様の情報をいただいて、お声を掛けていただければ会長幹事も同行しますので、7名を目標にしておりますが1名でも2名でも趣旨を伝えて増強につなげていきたいと思っております。

来週は休会ですので、お盆前の最後の例会になります。先程の理事会でもお話をしましたが、8月の残りの例会をオンラインなどに切り替えます。コロナが急増し十勝も300人前後の感染者が続いており、今月の終わりには家族野遊会も控えていて私も楽しみにしていた開催したいという気持ちもお伝えしましたが、このような状況のため家族野遊会は中止となりました。9月にはどのような状況になるかわかりませんが、来月の例会に関しても随時どのようにするか決めていきます。少しの間直接お会いすることが出来ないかもしれませんが、皆様も気を付けて直接お会いするときには元気な姿で例会に出席の程宜しくお願い致します。

す。以上で会長挨拶とさせていただきます。

■会務報告 及川 悟 幹事

帯広北RC、8月12日(金)の例会は、休会と致します。

■会葬御礼挨拶 黒田会員

■ニコニコボックスの発表 福田 和彦 副会長

担当例会宜しくお願ひ致します。

中村会員

インターアクトの清掃事業に参加してきました

中島会員

父の葬儀にお心遣いありがとうございました

黒田会員

何もないけどニコニコします

長谷川会員

7月のゴルフ例会で優勝しました。毎度ありがとうございます。

高田会員

誕生日に記念品を頂き有難うございました。

一宮会員 松岡会員

■プログラム

中村 浩和 青少年プログラム委員長

【インターアクト活動報告】

帯広大谷高等学校インターアクトクラブ

帯広大谷高等学校インターアクトクラブ部長の伊川 向日葵さん、大畑 奏翔君、長野 斗和君、葛西 怜汰郎君の4名で、日常的に行っている活動と7月29日から8月1日に行われた湘南学園・安田学園との交流・清掃活動事業の報告を、パワーポイントを使ってわかりやすく行っていました。

まずいつも行っている主な活動の紹介がありました。

枝や枯葉を集める帯広市動物園清掃活動、タンポポをひたすら抜くグリーンパーク清掃活動、今年帯広北RCも例会として参加予定だった札内川の河川敷の清掃活動、オビヒロホコテンの会場の設営・撤去作業のボランティア、子ども達と遊具で遊んだり絵本を読むまじこ保育所訪問活動、帯広ロータリーアクトクラブの例会のパークゴルフ交流会に参加、JICA帯広交流会の参加、冬期間の毎週日曜日に介護施設に木の木への訪問、ベトナムのストリートチルドレンのために生徒会・文化常任員と協力しての募金活動、宮坂建設防災訓練へ参加、ソロプチミスト帯広みどりおもてなしボランティアとして開発途上国の研修員に日本文化を伝える活動、帯広市選挙管理委員会と選挙の啓発運動を行う、現在は中止していますが発展途上国支援のためのエコキャップを集める活動、マスク不足の時のフェイスシールド製作、SYD主催全国青年ボランティア・フェスティバル参加し同世代と交流、国際ガールズ・デーで講師を招き女性のために何ができるかを考え啓蒙する活動、帯広市障がい者水泳大会での運営ボランティア、過去に全国3位になったことがある全国ジュニアゲートボール大会への出場など盛りだくさんの活動のお話がありました。

メンバーの皆さんは責任感と自主性の大切さを先輩から教えられ受け継いでいるということです。

続いて湘南学園・安田学園との交流・清掃活動事業の報告に移りました。

7月30日、SDGsの項目の一つである「海の豊かさを守ろう」を実践するため

鶴沼海岸へ行き、湘南学園中学高校と5つのグループに分かれて清掃活動を行いました。

海水浴場でゴミが多いと思っていたが意外とゴミは少なかった。この日の江ノ島は天気が良く、そして波が高く多くの人たち



が訪れていました。

清掃活動の後、湘南学園中学高校カフェテリアに移動し学校紹介を受けました。湘南学園で行われる行事は日程、時間割、進行すべてが生徒達だけで行われており、先生はサポートするだけで生徒達が主体性を持ち協力し合っていることを聞き、憧れを抱きました。アイスブレイクゲーム行い、どのグループも楽しそうに行うことができ親交を深めることが出来ました。その後湘南学園さんで昼食を頂きました。湘南学園のカフェテリアの食事は生徒の保護者が作っていて、食材もすべて地元のものとすることで驚きました。とても美味しかったです。最後にバナー交換を行いました。藤沢のバナーのモチーフは江の島でした。

7月31日は安田学園と交流しました。9階にある会議室へ集合し、まず説明があった後

学園の隣にある横網町公園を清掃しました。昨日よりたくさんのゴミがあり、特にたばこの吸い殻でしたが多くのゴミを拾うことができました。公園はとても広く、静かな場所で、関東大震災で亡くなった5万8千人の遺骨が納められている慰霊堂があり、そこを清掃したことで関東大震災を知ることでも有意義な活動だった。清掃後、お互いの学校紹介・活動紹介をしました。安田学園はSDGsに力を入れており、主にエコキャップ集めに力を入れていました。そしてエコキャップをエコキャップアクトに活用していました。その後湘南学園と同様にアイスブレイクゲームを行い、帯広北RC、東京東RCのメンバーも参加して交流を深めました。最後に217年続く船橋屋さんのくず餅のお土産を頂きました。とても美味しかったです。

この交流を通してとても楽しかった反面、自分達の未熟さに気付くことができました。また計画的に、そして積極的に取り組むこと大切さ、コミュニケーションの大切さを知ることができました。今後もっと自立した人間になれるよう頑張っていきます。

次年度に向けて両校ともに交流事業を継続したい意向があり、湘南学園はコロナ禍で部員が減少し活動ができなくなるところ、この事業の話でまたクラブがまとまり、消滅の危機を回避できたということで本当に感謝していると言われ、これからも提携したいということでした。安田学園は沖縄と提携を結んでいる学校があるが北海道とも提携を結びたい。我々もこれを通じて、日本の端と端である沖縄の高校とも交流を持ちたいと考えています。

最後に今回はこのような活動に参加させていただきありがとうございました。次年度も参加したいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

帯広大谷高等学校インターアクトクラブの報告が終わり、最後に創立から関わった中島会員からのお話がありました。

○中島委員からの報告

今回のインターアクト湘南、東京での活動に、当クラブから中村青少年プログラム委員長、地区インターアクト委員の曾我会員、そして中島の3名で随行させて頂きましたので、私の方からもご報告させていただきます。

まずインターアクトは12歳から18歳を対象としており、その歴史としましては、ローターアクトに先立って昭和38年に国内最初のクラブが仙台育英高校にて結成されました。

当時100名以上の世界一の部員数で、現在も60名以上在籍しています。

現在国内には597クラブあり、これはローターアクトの297クラブのおよそ倍のクラブ数になっています。

先日のお木ガバナー、そして松原ガバナー補佐のお話にもありましたが、現在RIではさかんにローターアクトクラブとローターアクトを増やすようにとキャンペーンを張っておりますが、私見としてはまずは地域のインターアクトクラブを盛り上げていくことがローターアクトの会員増強ならびにロータリーの会員増強につながっていくと思っております。元々RIがインターアク

トプログラムを立ち上げた理由として、できるだけ早い年代の内

に奉仕の精神を学んでもらう事が重要であるという事でしたので、この青年期の活動の後押し、あとインターアクトとローターアクト、ロータリーを含めた相互交流によって、これまで学んできた奉仕の精神が途切れないような受け皿作りが重要だと思います。ただ2500地区においてはインターアクトとローターアクトの相互交流は思ったほど行われていないのが現状です。自分は2018年度から3年間ローターアクトの地区委員長をさせて頂いていた際に、色々なロータリークラブ、ローターアクトクラブの会員の方とお話させて頂きましたが、やはり自分たちの提唱している青少年プログラムのクラブの事は分かるが、それ以外は分かりませんという事が多かったです。やはり今後は青少年のクラブを提唱している、していないに関わらず、インターアクト、ローターアクト、ロータリーの枠を超えて交流して土壌を広げていかなければならないと思っております。

大谷高校インターアクトクラブに関しましては2020年の3月10日に当クラブを提唱クラブとするインターアクトクラブとしてRIから認証を受けましたが、その後まもなくコロナ渦となった影響で、ロータリーとしてのバックアップがままならない状況となっております。

私が創立のお手伝いをさせて頂いた関係で、コロナが落ち着き、当クラブと大谷高校の共同活動が可能になり、その活動が軌道に乗るまで関りを持たせてもらっております。そういった関係で今回このプログラムを企画し、参加させて頂きました。

実はインターアクトにも毎年5月頃に2500地区の全11クラブが集まる年次大会がございまして、あと当地区では春休みに主に韓国、台湾等への短期海外研修もあります。ただ2020年から2022年にかけてはその全てが中止となっております。

日本国内のインターアクトクラブはほぼ高校基盤となっておりますので、

つまり2020年に入学してから入部した生徒はインターアクトクラブの大きな魅力でもあります、他のクラブとの交流を知らずに卒業することになります

加えてRYLAセミナーの方も今年も含めて3年連続の中止となり、青少年奉仕プログラムの大きな一つの目的であります地域の青少年に対するリーダー育成の場が大きく失われております。

このような状況ではありましたが、インターアクト設立から継続的に金沢先生と連絡を取り合う中で先生の方から、湘南と東京の隅田川清掃活動の計画を聞かされました。今年になって行動制限が緩和されてきたこともありまして、クラブの方で諮ってもらったことにしましたが、どうせなら清掃場所近隣のインターアクトクラブに交流の申し入れを私の方でさせて頂きました。

インターアクトクラブ同士では、先程も触れられていましたが、湘南学園さんからは是非今後も交流(例えばホームステイ等も含めて)してほしいとお話が金沢先生の方にあったようですし、安田学園さんからも現在交流をしている沖縄の高校と3地区で提携しませんかとお話も頂いているようですので、今後も感染の状況にもよりますが、可能な限りのバックアップとアドバイスを続けてまいりたいと思います。

今回は皆様のご理解のもと、この奉仕プログラムの実行に会員も皆様のご理解を頂けた事に感謝申し上げます。私からのご報告とさせて頂きま



■次週のプログラム予定

「休 会」

■閉会宣言

■点鐘

木戸 辰浩 会 長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店
帯広南RC:北海道ホテル
〈火曜日〉芽室RC:めむろ一どセミナー
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド
上士幌RC:川村福祉会館
音更RC:ハビオ木野

〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
清水RC:清水町中央公民館
帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	メークアップ	欠 席	出席率
62	56	32			51.6%